

Excellent Lady Aki

エクセレント・レディ
亜紀
宇宙の友よ

大津清志

目次

これまでのあらすじ	3
第1章	7
第2章	11
第3章	29
第4章	37
第5章	43
第6章	47
第7章	57
第8章	63
第9章	69
最終章	77
あとがき	79

これまでのあらすじ

亜紀はマーズステーションに宇宙警察の仕事として来て、どこ宇宙から来たかわからないエイリアンの乗る大型宇宙船に、宇宙平和についての対話のために飛び乗った。そこで亜紀の最大なる願望であった宇宙人と人間の宇宙平和協定対談はできたものの、宇宙人との科学文明のギャップが開きすぎることを、まざまざと見せつけられた。宇宙工学と医学の違い、それに対して科学者として、人間としてなす術、言葉をなくして、皆の待つマーズステーションに帰ってきたのであった。

これまでのあらすじ



第1章

今、亜紀の頭の中は一般的な人間の考え方しかできず、本物のタイムマシンに乗ってしまった感覚が全くなくて、亜紀が異次元にいた時間差が大き過ぎて、ブラックホールに入った時の時間のズレどころではないのに対して、他の人たちに理論的に証明できず考え込んでいた……。

今回、緊急会議の焦点は亜紀が一人で宇宙人の乗る大型UFOに乗り込み、その後エイリアンにより亜紀自身の身体に思考回路分析通話装置の部品を埋め込まれたが、エイリアンの言う通り時間が来れば身体の外に汗となり放出してしまう髪の毛程の細い小さなICチップなのだが、マーズステーション医学病院で検査の結果、こめかみ左右と後頭部に蚊に刺されたほどの小さな腫れ痕がある程度で他に外傷はなしという結果が診断されたことと、亜紀が持ち帰ったメモリーチップのなかには皆の待つ時間と、メモリーチップのなかでの亜紀がエイリアンと話をしている時間の差が二十四倍で、地球人の常識的な考えでは理解できないタイムラグを、誰がどのように説明できるのか？ という非科学的な問題についてと、学者であり宇宙警察長官でもある亜紀がエイリアンとUFOのなかで宇宙平和について討論をして来たこと、この話をまとめた証拠となるメモリーチップのなかの動画の前に、この会議で討論していくのだが、会議のなかでメモリーチップのなかにある動画を見ているだけでも、亜紀のいなくなつた時間から帰ってきた時間をとうに過ぎて行く、一般的ごく普通に考えても絶対にあり得ない問題に皆、絶句していた。

当事者の亜紀も会議に出席しているが、自分でも大型UFOに乗ってワープしたこと自体知ら

ない状況で説明もできない。しかし、このメモリーチップがあるおかげで自分がどこで何をしていたかは説明がつく。だが、そこで亜紀が昔から思っていたことだが、その証拠となる動画は普通の人間が見たなら、宇宙人の持つ科学と文化と人間の持つ科学と文化では差があり過ぎて人間とエイリアンの厚い文明の壁を作ってしまう、それは真実を受け止められない遅れた人間の文明だから。

それを今ここにいる皆にどうしてこうなったかわかるように説明したくてもできず、自分自身もエイリアンと話をしている間は普通の時間が過ぎ去っているものだと思うのだが、最後にエイリアンにタイムラグしていることを聞かされた時、UFOの中は何でもない普通の時間が過ぎていくものだとばかり思っていたので、半信半疑でエイリアンの話を聞いていたから、皆の元へ帰ってきてから初めて知る現実を亜紀はあまり驚きはしなかった。だが信じられぬ出来事に遭遇した亜紀はたぶんUFOがワープした時からタイムスリップしたのだろうと、今となっては、そうだったのかと学者的に考えていた。しかし他の学者たちは、まさかそんなことがあるわけがないと信じられないのが普通であると亜紀は認識していた……。

それにしても、あの大きな物体のUFOが中に乗っていると何の揺れもなくワープできるのか？ しかもタイムスリップまでできるなんて、と、科学者である亜紀の気持ちを奮い立たせる反物理学を見つめていた。

確かに宇宙のブラックホールに巻き込まれると多少なりタイムラグするかもしれない。だがそうではない。あの大型UFO自体が宇宙なのか？ それ以外に考えられない。亜紀は何の根拠もないことに決め付けてしまう自分が情けないというか、冷静になればなるほどわからなくなる次元の違いに亜紀は原点に戻り考えた。あのUFOが飛行をし始めた時にしろワープにしても、亜紀には大型UFOが動くという実感も体感もなかったのだ。そのあたりからして我々人間の造った宇宙船とは全然違う乗り物で、UFOの中は宇宙へ出ても重力があるのと、加速の時に起こるG【横に引っ張られる力】がないので、たぶん、重力制御装置があると分析している。問題はタイムスリップだ。それだけが亜紀にもわからない。仮に重力制御装置があればタイムマシンができるのか？ とか考えてしまうが、やはり違うだろう。この前亜紀が乗ったUFOのなかでエイリアンが言っていた、我々地球人に身近で理論的な推進力の原理とは何なのか？ と聞いたたら、答えは、それは至って簡単な原理だと言っていたが、エイリアンはなぜ簡単なら亜紀に教えなかったのか？ その技術が宇宙を支配してしまうからなのか……。